

地域包括ケア「見える化システム」を 活用した地域分析

令和元年度

二宮町高齢介護課介護保険班

目次

総人口の比較	…	1
高齢化率の比較	…	2
高齢世帯の比較	…	3
第1号被保険者の比較	…	4
認定者数の比較	…	5
認定率の比較	…	6
新規認定者の比較	…	7
施設・居住系・在宅受給者数の比較	…	8
受給者1人あたり給付月額(在宅・居住系のみ)の比較	…	9

地域包括ケア「見える化システム」とは…

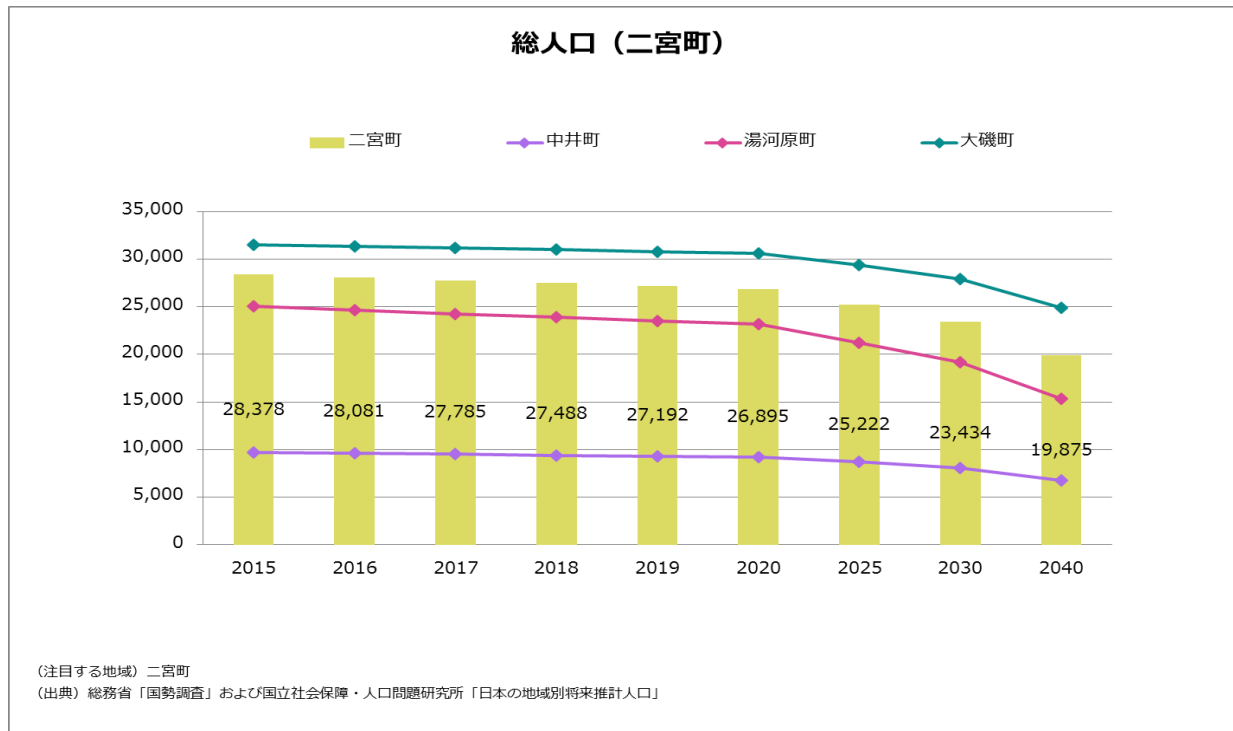
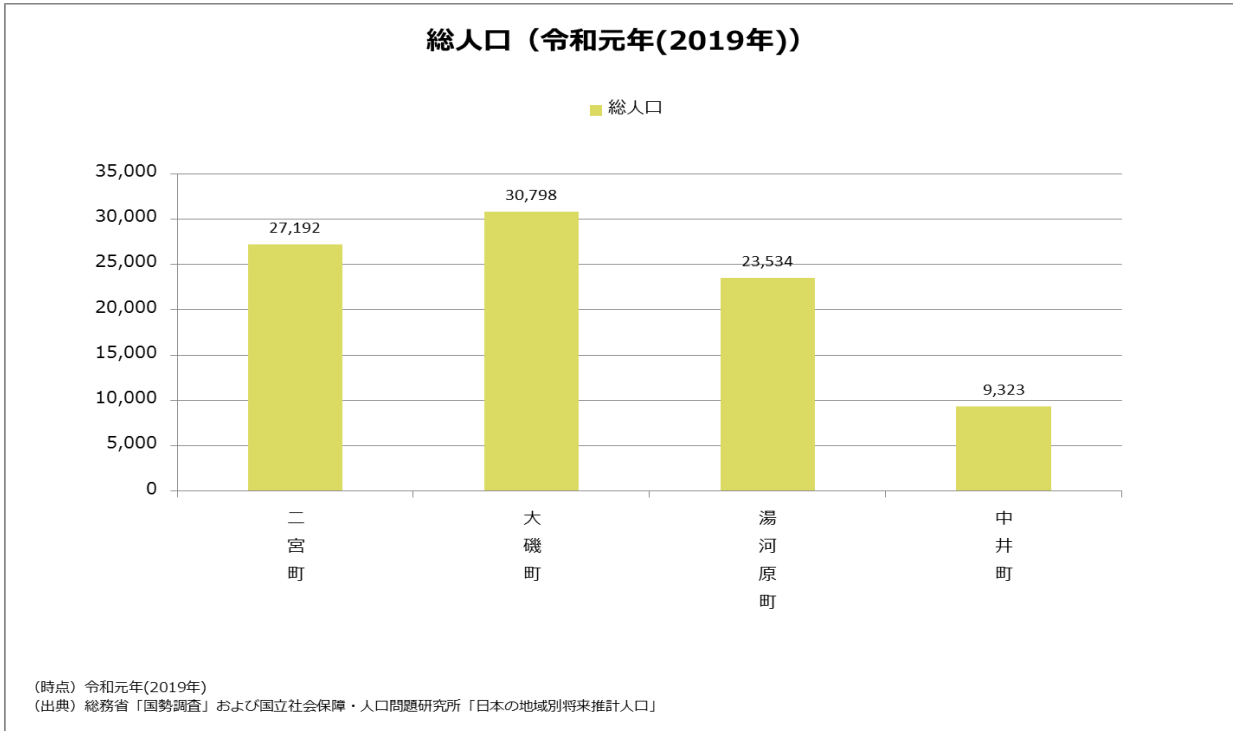
地域包括ケア「見える化システム」は、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。

介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が一元化され、グラフ等を用いた形で提供されています。

地方公共団体職員の方以外の方も、新規利用者登録を行えば、閲覧することができます。

<http://mieruka.mhlw.go.jp/>

■ 総人口の比較

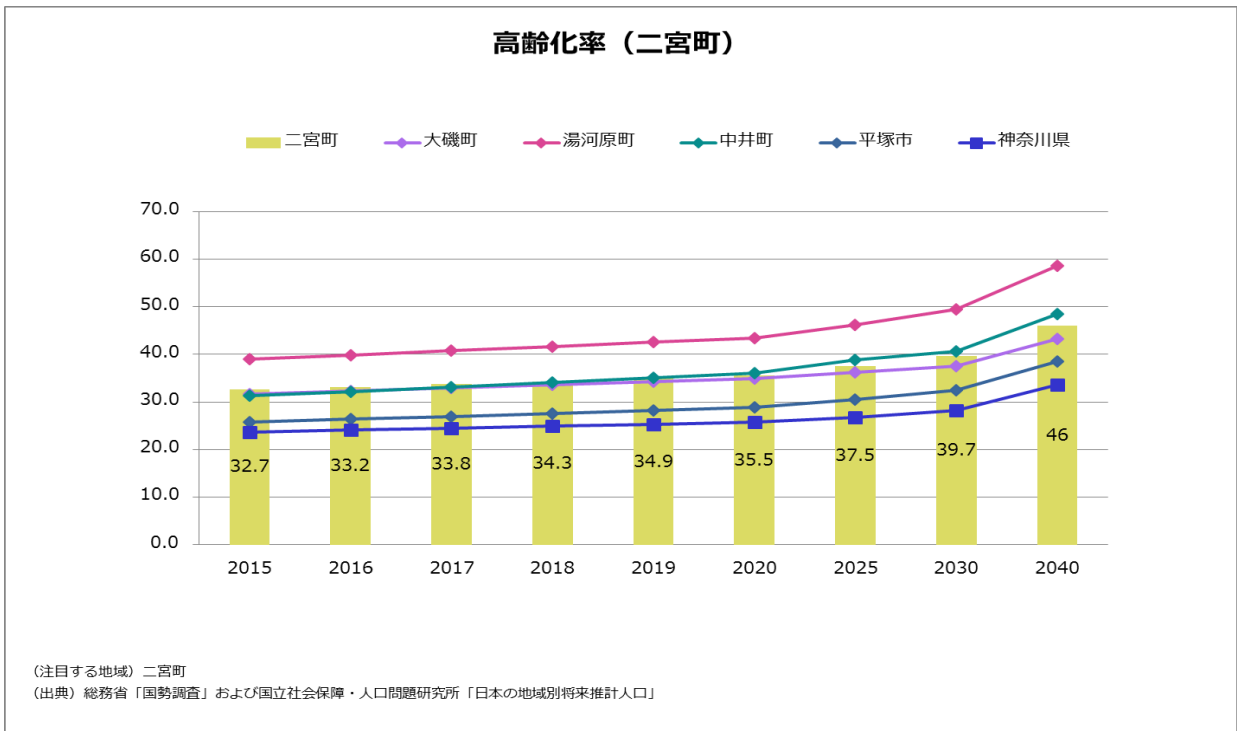
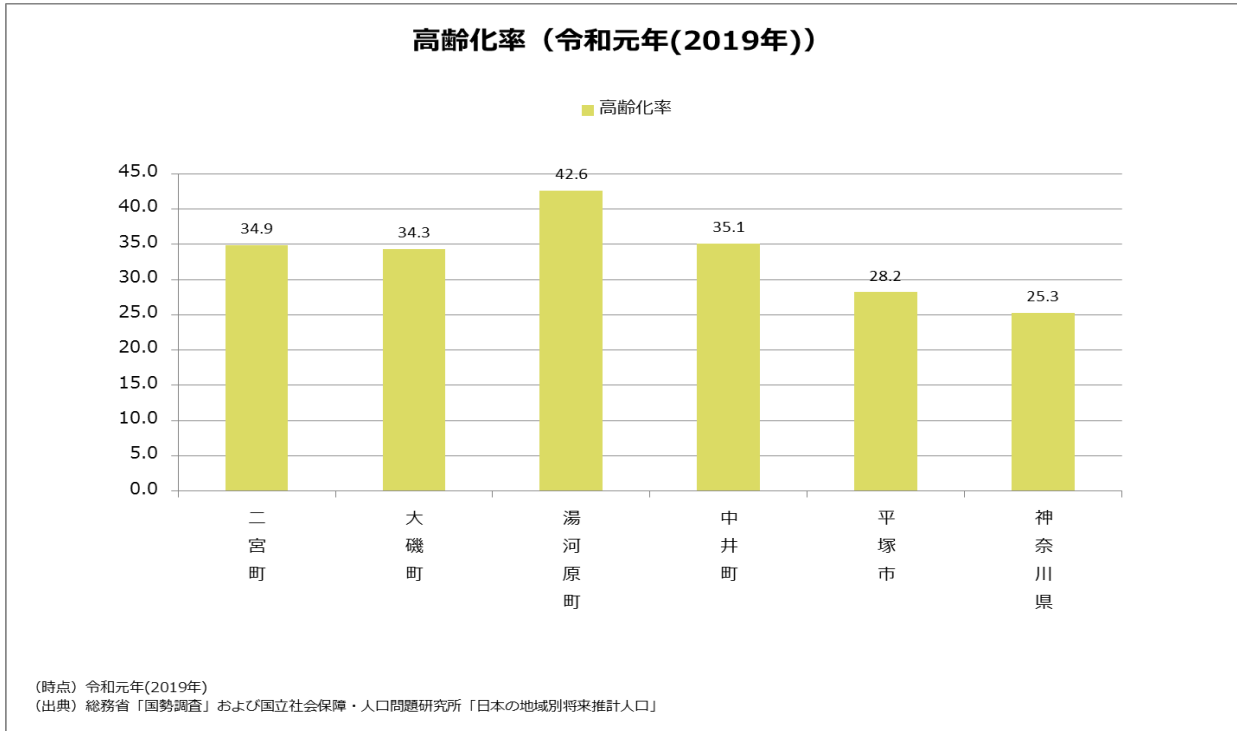


👉 解説

二宮町に隣接している大磯町、中井町と二宮町と総人口・被保険者数が近い湯河原町と比較しています。令和元年時点での総人口は、大磯町が30,798人で、二宮町は約3,500人少ない27,192人となっています。

人口の推移としては、緩やかに減少傾向にあり、2025年では25,222人となり、2040年には2万人を切ることが予想されています。比較対象の自治体も同様に減少していきます。

■ 高齢化率の比較

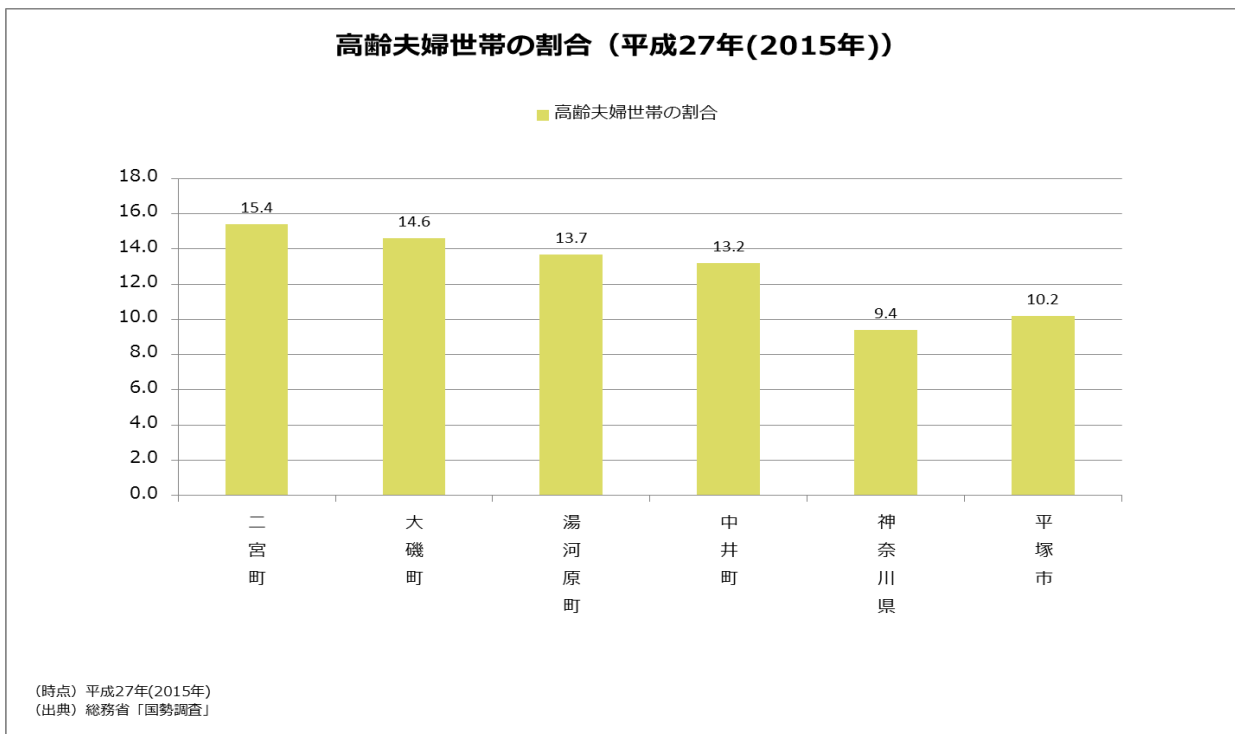
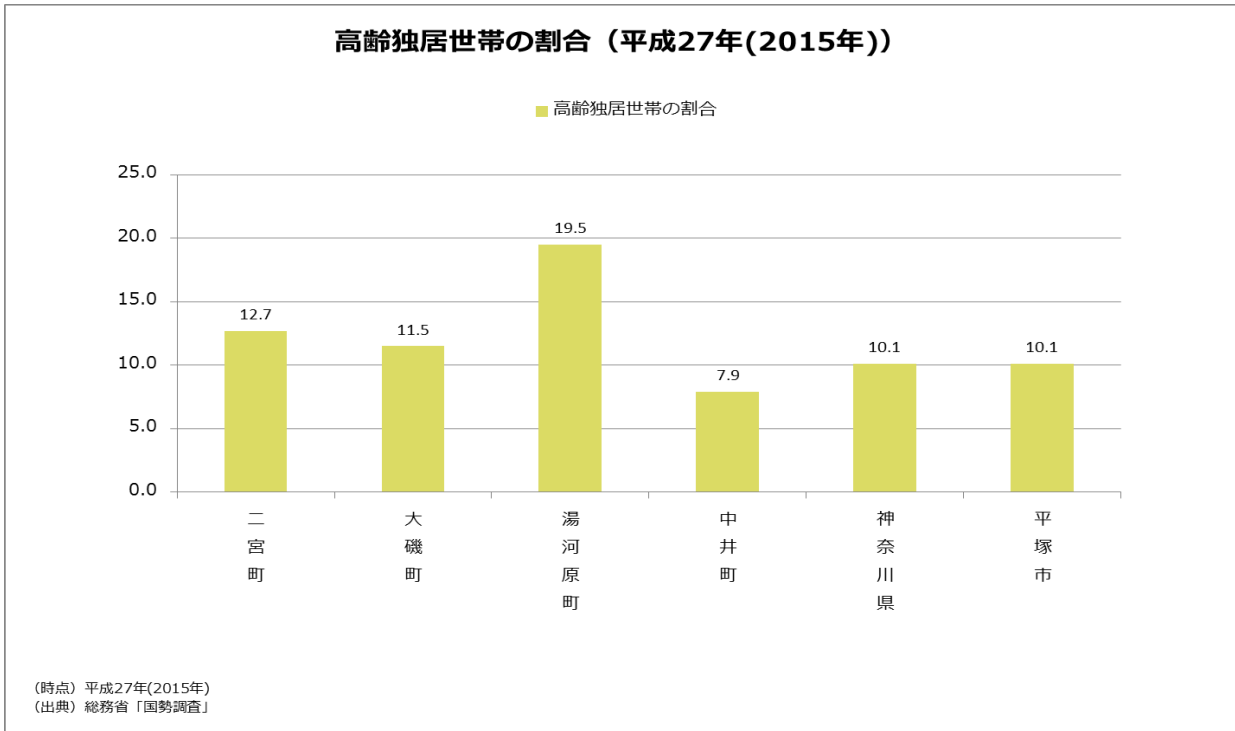


📖 解説

高齢化率については、神奈川県及び平塚市を追加して比較しています。県内の高齢化率が25.3%に対し、二宮町は、34.9%となっています。総人口では湯河原町より、約3,600人多いですが、高齢化率では逆に7.7%少ないものとなっています。

高齢化率の推移としては、大磯町、中井町の間を推移し、人口が2万人を切ると予測される2040年には、二宮町の高齢化率は46.0%になる見通しです。

■ 高齢世帯の比較

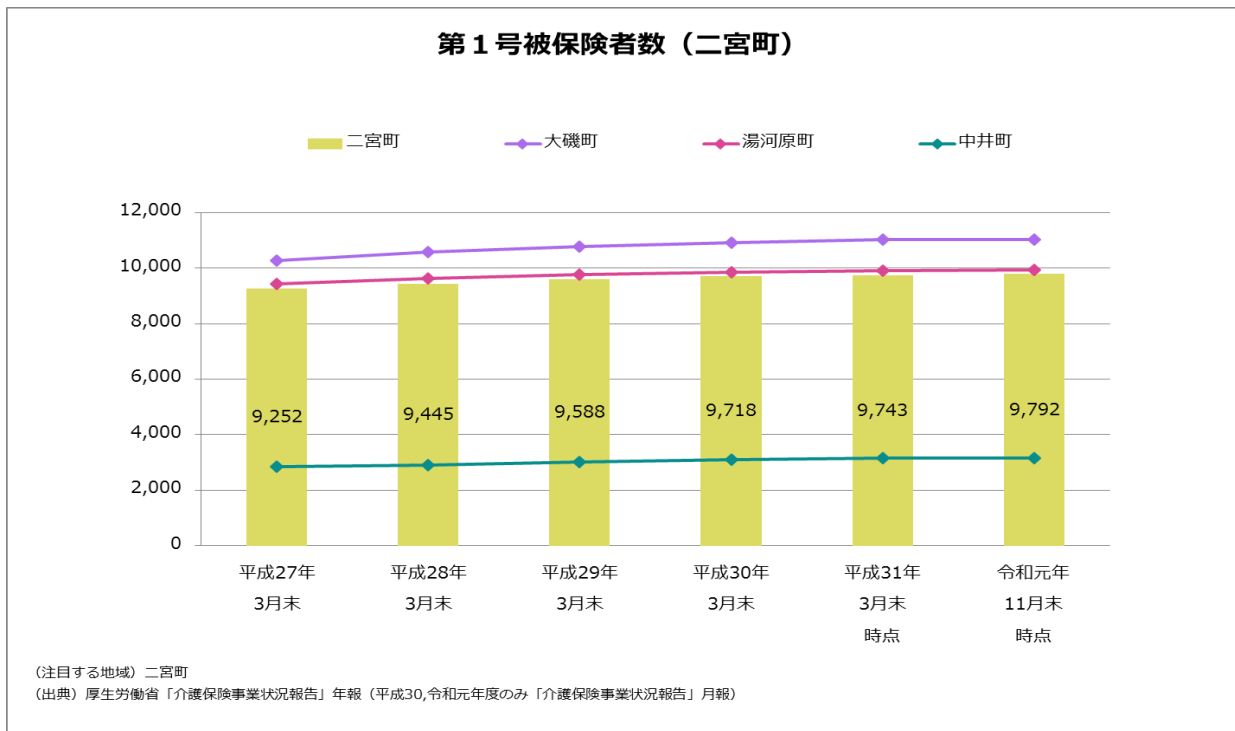
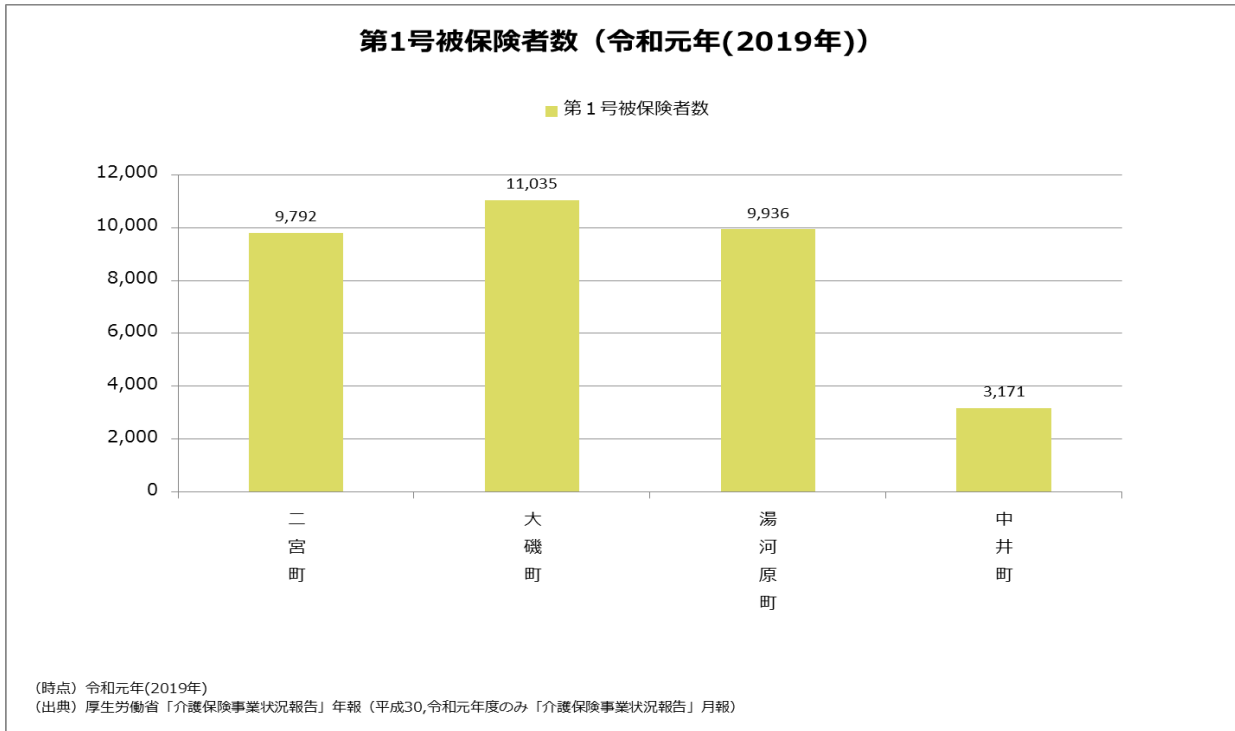


👉 解説

高齢独居世帯の割合については、神奈川県が10.1%に対し、二宮町はそれよりも若干高く12.7%となっています。湯河原町が19.5%となっており、二宮町とは6.8%の差がありますが、高齢夫婦世帯の割合を見ると、二宮町が逆転し、湯河原町よりも1.7%高い15.4%となっています。2015年現在で二宮町は、高齢夫婦世帯の割合が神奈川県で一番高く、在宅で暮らす高齢者が多いという特徴をあらわしています。

※高齢夫婦世帯とは、世帯員が夫婦のみの世帯のうち、夫及び妻の年齢が65歳以上の世帯のことです。

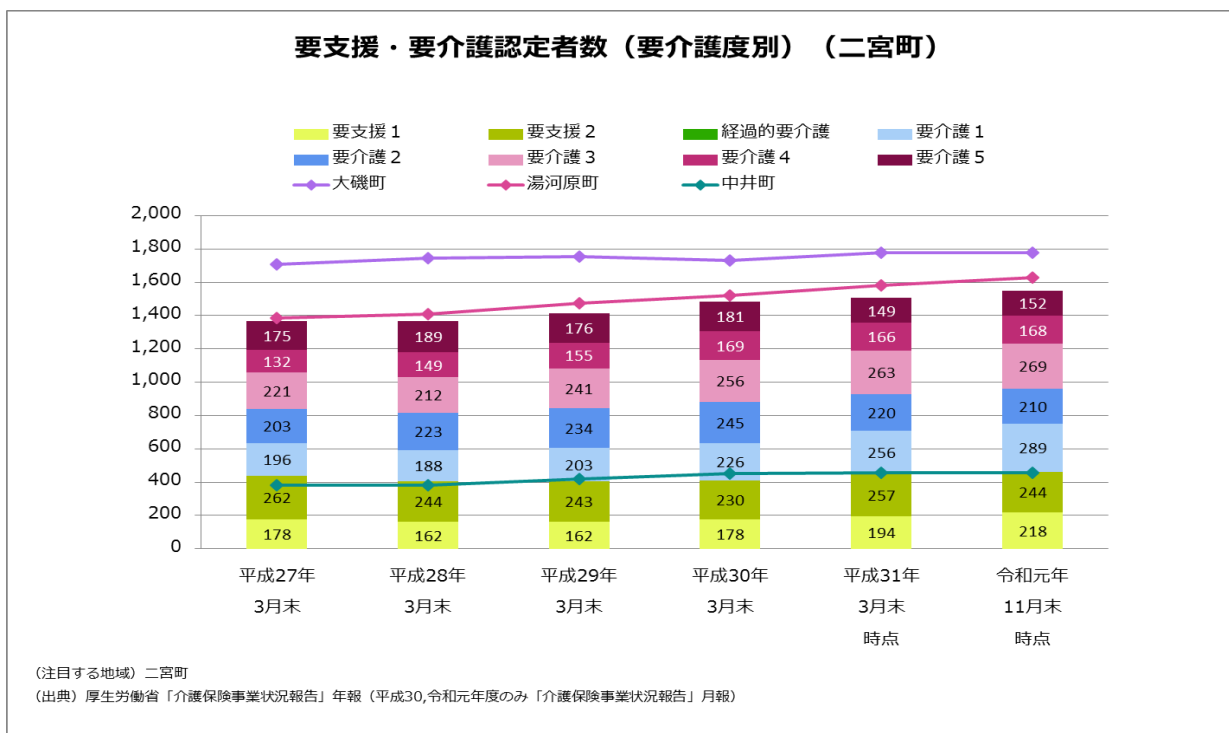
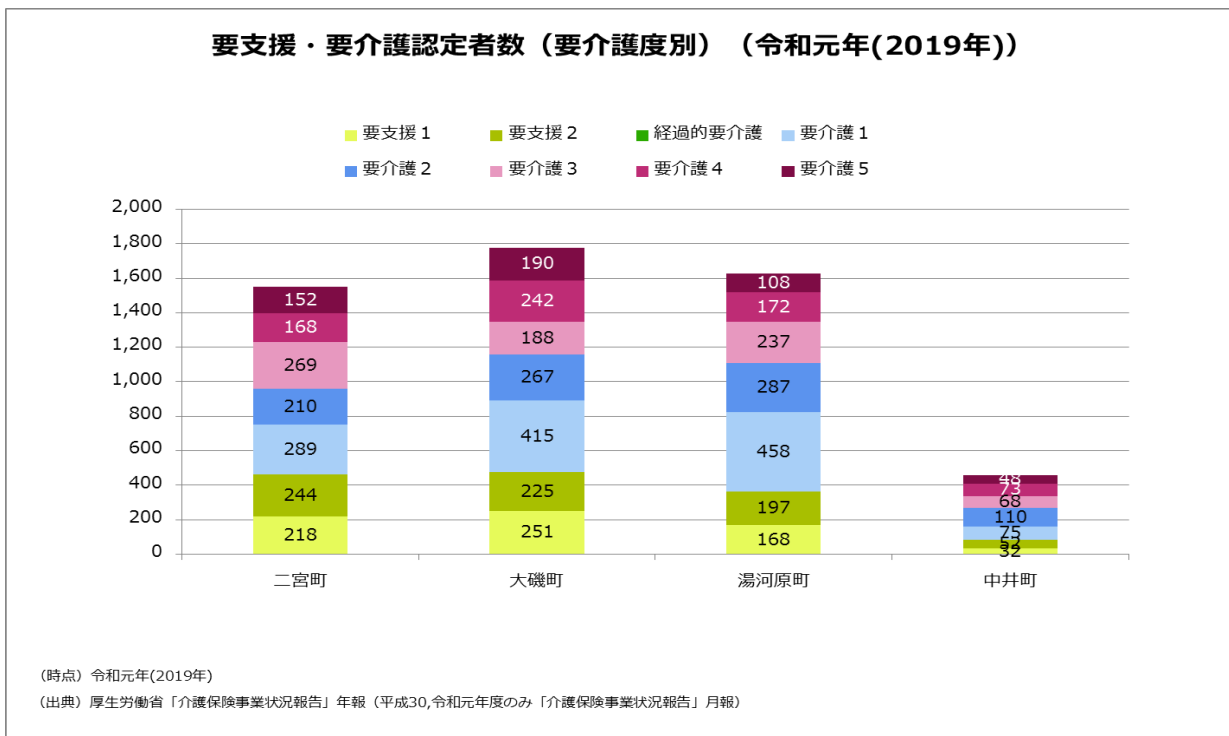
■ 第1号被保険者数の比較



👉 解説

二宮町の65歳以上の第1号被保険者数は、令和元年11月末時点で9,792人となっています。平成27年度からの推移では、年々増加傾向にあり、特に平成29年3月末までは約100人の増となっていましたが、平成30年3月末以降は、約50人の緩やかな増に変わってきています。比較自治体でも同様に緩やかな増加傾向にあります。

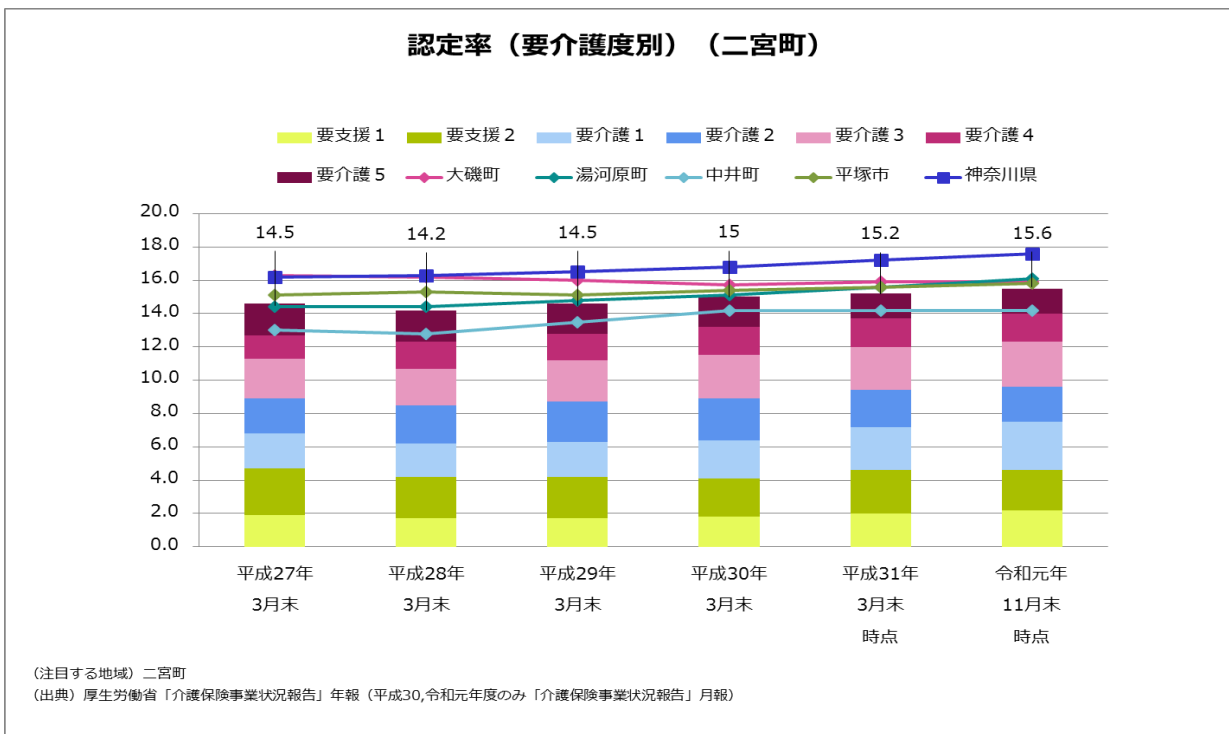
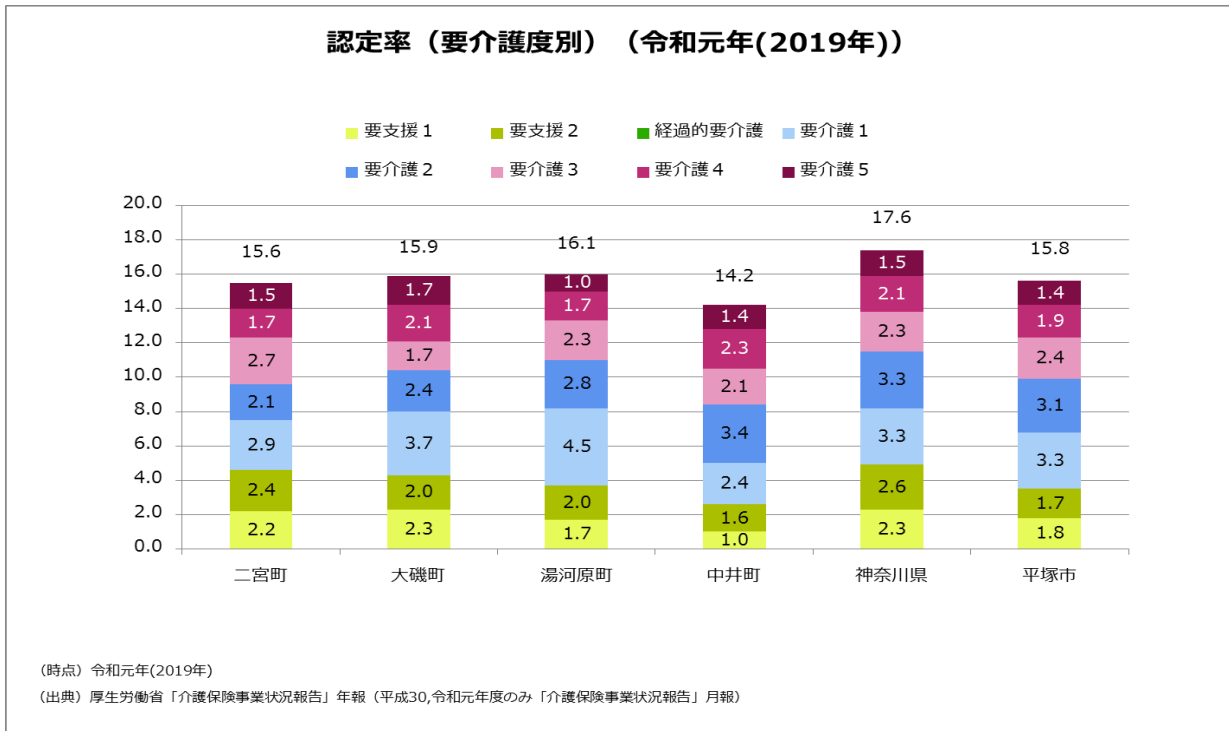
■ 認定者数の比較



📖 解説

二宮町の認定者数は、令和元年度時点で1,550人です(2号被保険者含む)。大磯町は1,778人、湯河原町は1,627人となり、両町に比べ要介護1、要介護2が少なく、代わりに要支援1,2の割合が高い傾向にあります。平成27年度からの推移では、認定者数は年々増加傾向にありますが、要介護5は平成31年3月末時点で大幅に減となり、その後はほぼ横ばいとなっています。要支援者数については、平成27年3月末より高い水準をキープしています。他市町村と比較すると、湯河原町よりも若干少ない認定者数となっています。

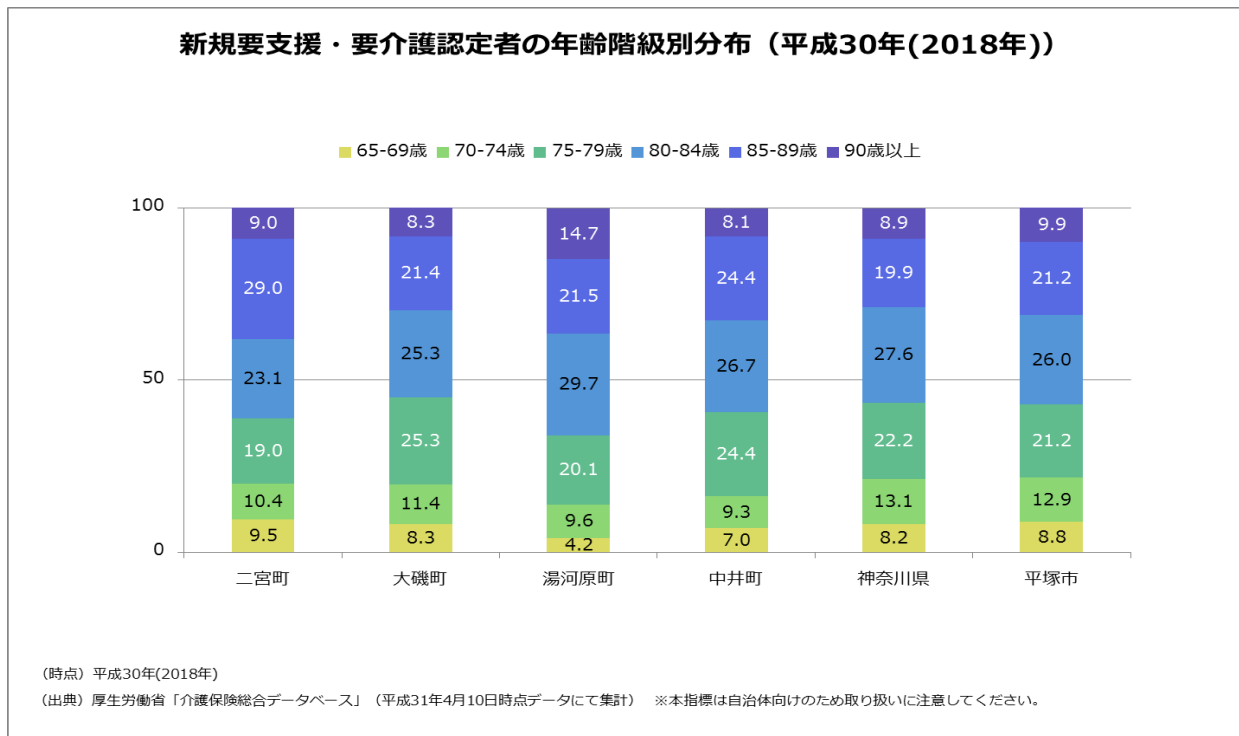
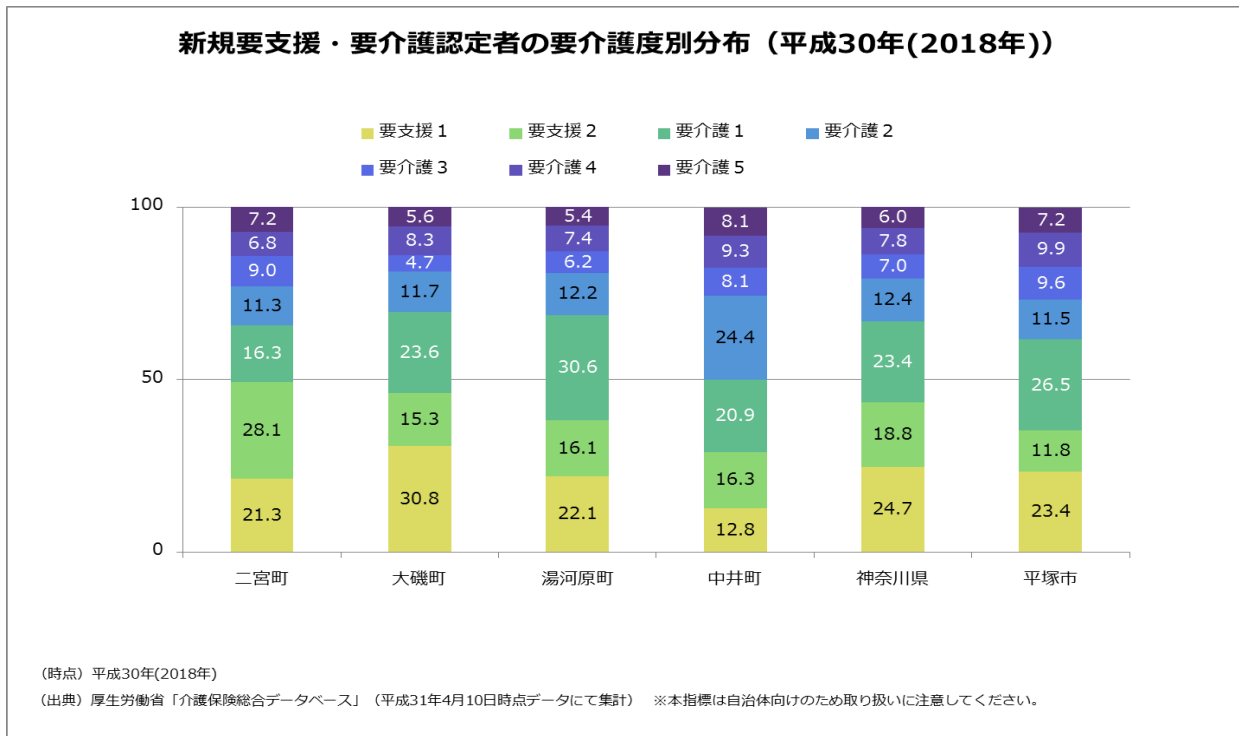
■ 認定率の比較



👉 解説

二宮町の認定率は、令和元年度で15.6%となっています。神奈川県平均が17.6%ですが、県西部は比較的認定率が低い傾向にあります。40歳から64歳までの2号被保険者を含んだ場合、二宮町の認定率は15.8%となります。平成27年度からの推移では、平成28年度に0.3%減となりましたが、年々増加傾向にあり、平成30年度にはじめて、15%を突破しました。増加傾向はしばらく続くと想定され、令和2年にも16%を突破する可能性もあります。

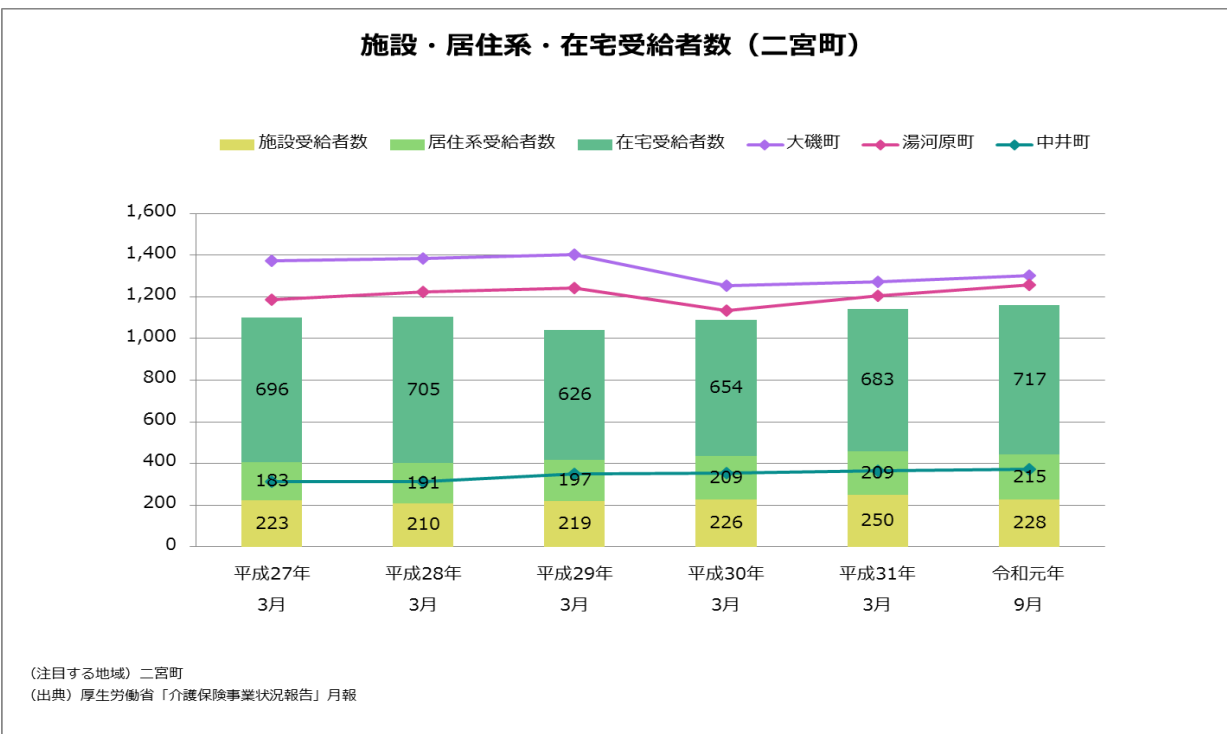
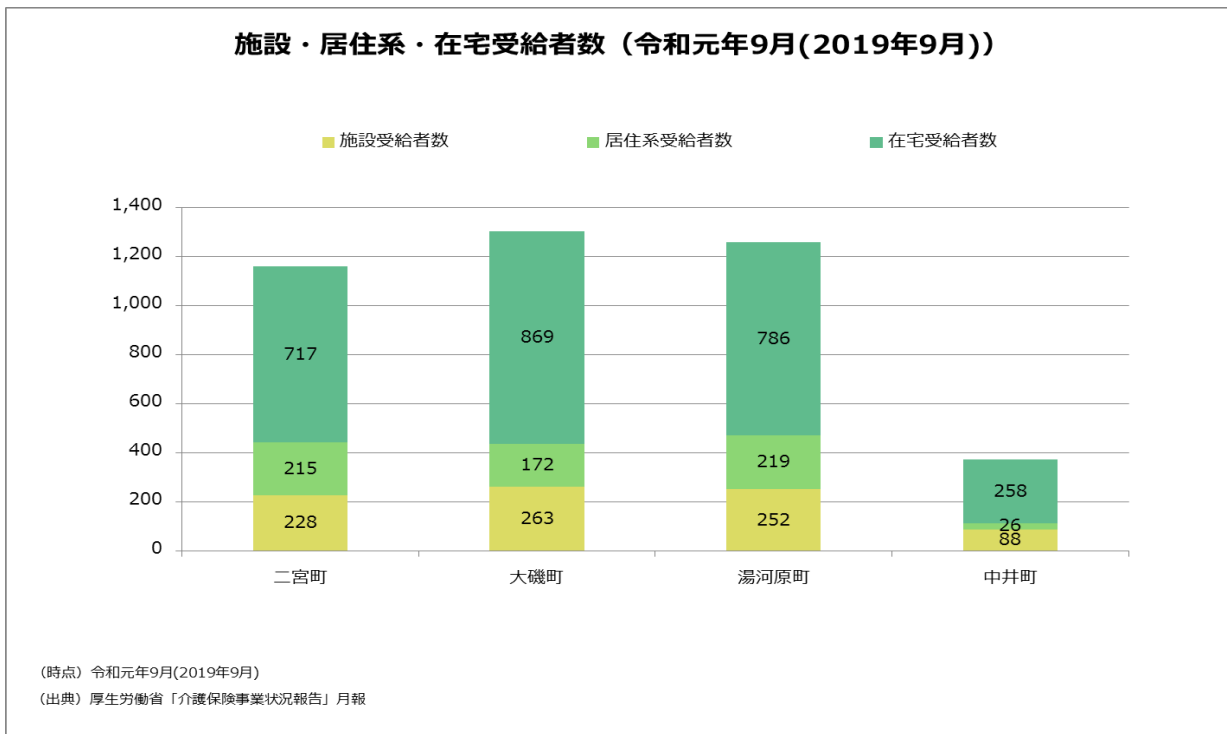
■新規認定者の比較



📖 解説

二宮町の新規認定者の要介護度別分布を見ると、要支援者の割合が49.4%と最も高く、そのうち要支援2が28.1%と唯一20%を超える自治体となっています。また、要介護1の割合が16.3%と最も低い傾向になります。要支援2と要介護1の違いは、認知機能が保たれているかどうかであり、二宮町は認知機能が保たれている方が多いことになります。年齢階級別分布では、85歳以上89歳以下の方が、神奈川県内の自治体と比較して最も高く、85歳以上での新規認定者が多い傾向にあります。

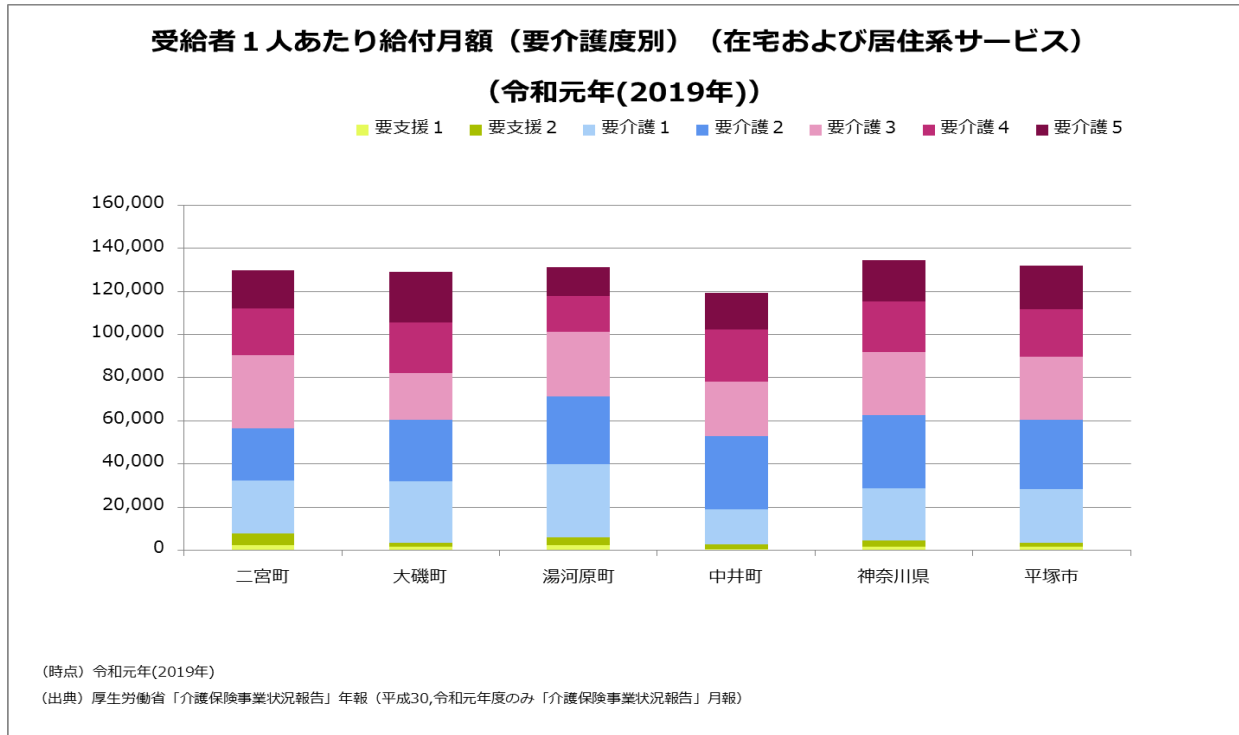
■施設・居住系・在宅受給者数の比較



📖 解説

二宮町の施設・居住・在宅受給者数を見ると、総数については、認定者数の多い順番に順に受給者数も多くなっています。ただし、居住系に係る人数だけを見ると、大磯町の人数が少ないのが特徴です。平成27年度からの推移では、平成29年3月に減少しております。これは、居宅介護等が総合事業に移行したことによるものです。それ以降は認定者数増により、受給者数も増加傾向にあります。平成30年度に施設サービス受給者数が24名増えており、これは近年で一番多い増となりました。町内・近隣での新規施設への入所ではなく、既存施設への入所が要因となっておりますが、令和元年度に入ると、亡くなられたり、入院した方がおり、22名の減となっております。

■受給者1人あたり給付月額(在宅・居住系サービス)



(単位: 円)						
	二宮町	大磯町	湯河原町	中井町	神奈川県	平塚市
要支援1	2,361	1,619	2,200	595	1,426	1,511
要支援2	5,315	1,652	3,617	2,198	3,125	1,732
要介護1	24,795	28,788	34,018	15,962	24,187	25,036
要介護2	23,929	28,550	31,494	34,229	33,779	32,184
要介護3	34,100	21,681	29,902	25,269	29,256	29,131
要介護4	21,491	23,210	16,689	24,230	23,752	22,266
要介護5	17,962	23,531	13,202	16,782	18,992	20,260
合計	129,953	129,031	131,122	119,265	134,517	132,120

	H26	H27	H28	H29	H30	R元
二宮町	120,646	118,727	119,763	132,386	133,248	129,953
大磯町	114,626	117,911	117,516	126,156	130,047	129,031
湯河原町	114,539	115,419	115,366	123,529	127,706	131,123
中井町	132,294	130,662	127,317	120,899	119,443	119,264
平塚市	121,984	120,685	123,307	130,054	129,580	132,121
神奈川県	122,336	122,405	127,061	134,145	134,264	134,518

※1 H31/2月サービス提供分まで

※2 R元/9月サービス提供分まで

解説

二宮町の受給者1人あたりの給付月額(在宅・居住系サービス)を比較すると、要支援の方の給付月額が神奈川県や比較団体と比べても群を抜いて高い結果となっています。また、要介護3についても同様な結果になっており、比較自治体より、認定者数が多い介護度については、受給者1人あたりの給付月額も高い結果となりました。平成26年度からの推移を見ると、大磯町や湯河原町よりも給付月額は高い傾向が続いています。令和元年度につきましては、9月までの実績を反映したものであり、消費税等による単価改定を考慮すると平成30年度に近い給付月額になると思われます。